

# BOYA

## 3 in 1 ワイヤレスマイク システム

**BOYAMIC**

取扱説明書

## はじめに

BOYA製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の独特な機能を十分に発揮させ、末永くご愛用いただけるよう、この取扱説明書を使用前に必ずお読みください。後日参考にできるよう、取扱説明書は大切に保管してください。もしマニュアルの内容に不明点がございましたら、販売代理店までお問い合わせください。

## 注意事項

- 本製品を分解しないでください。
- 本体を火気の近くで使用しないでください（例えば、ヒーターやオーブンなど、熱がこもる場所は避けてください）。
- 本製品は充電式電池を内蔵しています。お客様ご自身で交換しないでください。
- 本製品をクリーニングする際は、柔らかくてきれいな布で拭いてください。
- 保管時や使用時には、ほこりや湿気にご注意ください。
- より正確に音を収録するために、本体の内蔵マイクをふさがないようにご注意ください。

## 商品紹介

BOYAMICは、ポータブルな2.4GHzワイヤレスマイクシステムです。高性能なノイズキャンセリング機能を備えており、騒がしい環境での録音効果を向上させることができます。また、8GBのオンボード録音機能を搭載し、録音ファイルをリアルタイムで保存することが可能です。BOYAMICは、ライブストリーミング、Vlog動画、モバイルジャーナリズムなどに最適です。

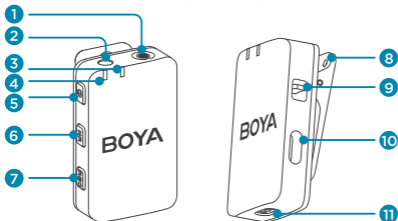
さらに、ローカットフィルターを装備しており、録音中の不要な低周波ノイズ（75Hz/150Hz以下）を除去することができます。BOYAMICはさまざまな使い方が可能です。トランスミッター（送信機）は、3.5mmの外部マイク、ライン入力、または内蔵マイクを使用できます。3.5mm TRS出力、USB-C、iOS Lightningのアダプターにより、レシーバー（受信機）はカメラ、ミキサー、スマートフォン、タブレット、ノートPCなどと接続できます。レシーバーにはUSB-C充電ポートが搭載されており、アダプターを使用しながら充電および電源供給が可能です。

## 特長

- 最大300メートルのワイヤレス通信距離
- 独立したノイズキャンセリングコントロール - 48kHz/24bit HD オーディオフォーマットを保持
- 広範囲な20Hz～20kHzの周波数応答 - 高品質なサウンド
- 8GBメモリ - 最大15時間の録音を保存可能
- トランスミッターのUSB-Cポート - ノートPCやスマートフォンに接続して録音ファイルを読み取ることが可能
- 最大10時間の動作時間（オンボード録音の有効時は約6時間）
- トランスミッターは付属のマグネットで衣類に取り付け可能
- 回転式のウィンドジャマー - 落ちにくい設計
- レシーバーの3.5mmヘッドフォン出力 - オーディオをリアルタイムでモニタリングしたり、再生することが可能
- 高解像度OLEDディスプレイ - 重要な情報を一目で確認
- モノラル/ステレオ/セーフティトラック出力が選択可能
- 3.5mm TRSアナログ出力、USB-CおよびiOS Lightningデジタル出力 - カメラ、スマートフォン、PCなどとの幅広い互換性
- 充電ケースが付属 - 持ち運びに便利なキット

## 製品構成

### トランスミッター（送信機）



#### ① 内蔵マイク

#### ② 3.5mm TRS入力端子

ラベリアマイク、3.5mmマイクやライン入力デバイスを接続します。

#### ③ 録音インジケータ

ステータス	インジケータ
マイクミュート	赤色で点滅
オンボード録音オン	赤色で点灯

#### ④ 充電端子

ステータス	インジケータ
未接続	青色でゆっくり点滅
ペアリング中	青色で速く点滅
ペアリング成功	青色で点灯（マイク入力） 黄色で点灯（ライン入力）
ノイズキャンセリングオン	緑色で点灯
バッテリー低下	赤色で点滅
充電中	赤色で点灯
フル充電	赤色で消灯

## 注意：

トランスミッターのバッテリーが低下したら、充電してください。充電しない場合、10分以内に自動的にシャットダウンします。

### ⑤ 電源ボタン

2秒間長押しで、電源をオン/オフします。短く押すと、マイクミュートをオン/オフします。電源オフ時に5秒間長押しで、ペアリングを開始します。

### ⑥ ノイズキャンセリングボタン

ノイズキャンセリングをオン/オフします。

### ⑦ 録音ボタン

オンボード録音をオン/オフします。

### ⑧ クリップ+マグネットクリップ

クリップの他、磁石での取付けでき、襟などでも使用できます。

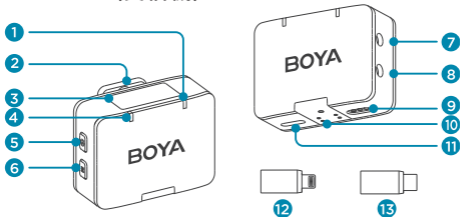
### ⑨ マイク/ライン入力の切替ボタン

### ⑩ USB-Cポート

充電のほか、パソコンやスマートフォンに接続して録音ファイルを読み取ることができます。

### ⑪ 充電用接点

## レシーバー（受信機）



## ① チャンネルAインジケータ

ステータス	インジケータ
未接続	青色でゆっくり点滅
ペアリング成功	青色で点灯

## ② クリップ

## ③ OLEDディスプレイ

## ④ チャンネルBインジケータ

ステータス	インジケータ
未接続	青色でゆっくり点滅
ペアリング成功	青色で点灯

## ⑤ 電源ボタン

2秒間長押しで、電源をオン/オフします。短く押すと、トランスミッターのゲインとレシーバーの出力ボリュームの調整ができます（詳細は「レシーバーのディスプレイ表示」を参照してください）。

## ⑥ Mボタン

レシーバーのメニュー画面を表示します（詳細は「レシーバーのディスプレイ表示」を参照してください）。

## ⑦ 3.5mm TRSヘッドホン出力端子

ヘッドホンを接続すると、リアルタイムで録音した音声や、録音を再生した音声をモニタリングができます。

## ⑧ 3.5mm TRS出力端子

アナログ音声をカメラ、ミキサー、レコーダーなどに出力します。

## ⑨ 充電用接点

## ⑩ 接続用接点

## ⑪ USB-C充電ポート

レシーバーの充電に使用します。USB-CまたはiOS Lightningアダプターで接続した外部デバイスへの電力供給や充電ができます。

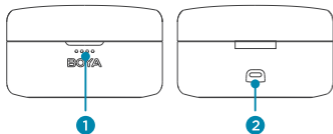
## ⑫ MFi認証Lightningアダプタ

Lightningインターフェース付きのiOSデバイスと接続します。

## ⑬ USB-Cアダプタ

アンドロイドのスマートフォン、タブレットやその他USB-Cインターフェース付きのデバイスと接続します。

## 充電ケース

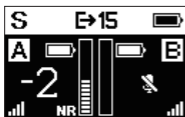


## ① 充電ケースのバッテリーインジケータ

ステータス	バッテリー	インジケータ
バッテリー低下	<10%	● ○ ○ ○
充電中	<25%	● ○ ○ ○
	25% ~ 50%	● ● ○ ○
	50% ~ 75%	● ● ● ○
	75% ~ 100%	● ● ● ●
フル充電	100%	● ● ● ●

## ② USB-C充電ポート

## レシーバーのディスプレイ表示 トランスミッターの状態表示部



ホーム画面で電源ボタンを押し、トランスミッターのチャンネルAまたはBのゲインとレシーバーの出力ボリュームに順番にアクセスします → Mボタンを押し、値を調整します → 再度電源ボタンを押し、設定を保存します。

	出力が、モノラル/ステレオ/セーフトラックのいずれかを表示します。
	75 Hzもしくは150 Hz以下の低音をカットします。
	レシーバーの出力ボリュームが0~15で表示します。デフォルト設定は6です。
	チャンネルAまたはBが接続していることを表示します。
	トランスミッターとレシーバー間のワイヤレス信号の強さを表示します。
	チャンネルが接続されていないことを表示します。
	マイクがミュートされていることを表示します。
	トランスミッターのノイズキャンセリングが有効になっていることを表示します。
	点滅している場合、トランスミッターでオンボード録音されていることを表示します。
	トランスミッターのゲインを-6~+9で表示します。デフォルト設定は0です。
	現在のオーディオの入力レベルを表示します。
	画面右上隅：レシーバーのバッテリーレベルを表示します。
	両側：トランスミッターのバッテリーレベルを表示します。



## メニューの表示

- ホーム画面でMボタンを押し、メニュー画面を表示します。Mボタンを押すことで表示を切り替え、レシーバーがホーム画面に戻るまで押します。
- メニュー画面から、Mボタンを長押しして設定を行います → Mボタンを押して値や機能を設定します → 再度長押しして設定を保存します。設定またはメニュー画面を終了するには、電源ボタンを押します。
- メニュー画面で20秒間操作が行われないと、自動的にホーム画面に戻ります。

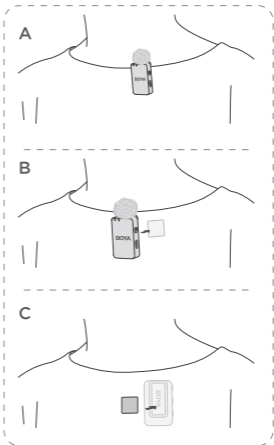
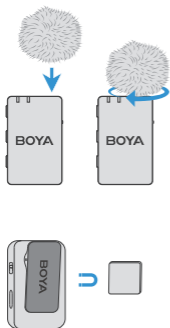
メインメニュー	サブメニュー	説明
Output Mode	Mono	トランスミッターの信号は、左右のトラックに同一にミックスされてモノラル録音されます。
	Stereo	トランスミッターの信号は、左右の別々のトラックに録音されます。
	Safety Track	左トラックにモノラル録音され、右トラックは歪んだ際のバックアップに-12dBで録音をします。
TX Mute Key	Enable	トランスミッターの電源ボタンでのマイクのミュートをオン (Enable) にします。
	Disable	トランスミッターの電源ボタンでのマイクのミュートをオフ (Disable) にします。
Auto Recording	Enable	トランスミッターの電源オンと同時にオンボード録音を開始します。
	Disable	トランスミッターの電源がオンになっても、オンボード録音はオフ (Disable) になります。
Output Volume	00~15	出力の音が歪んでいる場合、レシーバーの出力ボリュームを下げます。この設定は電源をオフにしても保存されます。(デフォルト設定は6)。
Low Cut	75Hz	75Hz以下の音がカットされます。
	150Hz	150Hz以下の音がカットされます。
	Off	/

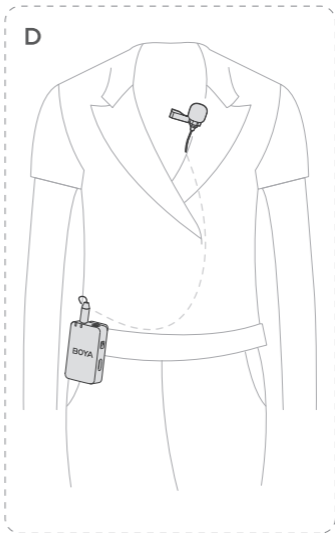
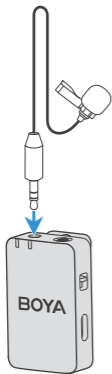
Speaker	Enable	レシーバーの電源オン時に、この機能はデフォルトでオンになります。スマートフォンなどをレシーバーと接続したまま、音声をスマートフォンなどのスピーカーから直接再生できます。
	Disable	/
Set TX Time A&B	Enter	書き出し時に、録音ファイルにタイムスタンプが含まれるように、日付と時刻を設定します。 この画面で、Mボタンを2回長押しして設定画面にアクセスします。ボタン押してカーソルを移動→長押しして設定にアクセス→ボタン押して値を調整→長押しして設定を保存します。 最後に、「SAVE」にカーソルを移動させ、長押しして確定して終了します。そのまま終了する場合は、電源ボタンを押してください。
Format TX A&B	Yes?	「Yes」を選ぶと、トランスミッターのオンボード録音ファイルが消去されます。（この機能は注意してご使用ください。）トランスミッターが録音中は、フォーマットでの消去はできません。
	No?	
Backlight	On	画面が常に点灯します（デフォルト設定）。
	10s	10秒間操作がないと画面を消灯します。
	30s	30秒間操作がないと画面を消灯します。
	60s	60秒間操作がないと画面を消灯します。
Language	簡体中文	デフォルト設定は「English」です。
	English	
Reset Default	Yes?	「Yes」を選ぶと、レシーバーの設定は工場出荷状態に戻ります。（注意してご使用ください。）
	No?	
Pair	Yes?	「Yes」を選ぶと、レシーバーはペアリング状態に入ります。
	No?	
Version		レシーバーのソフトウェアバージョンが表示されます。

## 操作ガイド

1. トランスミッターのマイク部には風防カプセルが備え付けられています。屋外や風の強い環境で防風性能を高めたい場合は、付属のウィンドジャマーを取り付けます。

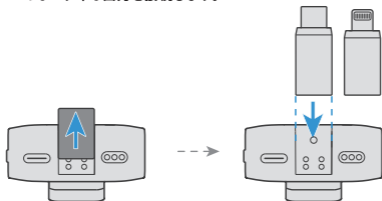
また、ラベリアマイク（ピンマイク）、3.5mmマイク、ライン入力デバイスを使用する場合は、トランスミッターの3.5mm TRS入力端子に接続してください。



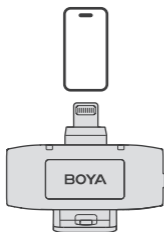


2.使用するアダプターをレシーバーに差し込み、スマートフォン、タブレット、コンピュータ、またはその他のモバイルデバイスに接続します。

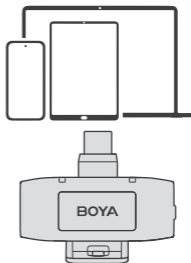
もしくは、アダプターケーブルを使用して、カメラやミキサーとレシーバーの3.5mm TRSオーディオ出力を接続します。

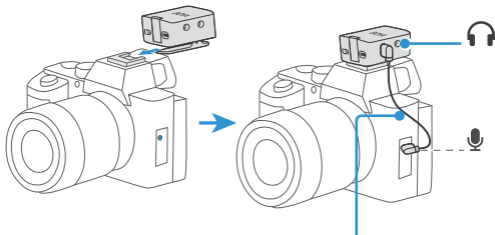


iOS Lightning



USB-C





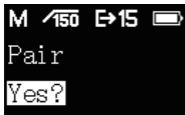
3.5mm TRS - TRS

3. 電源ボタンを2秒間長押しして、トランスミッターとレシーバーの電源をオンにします。

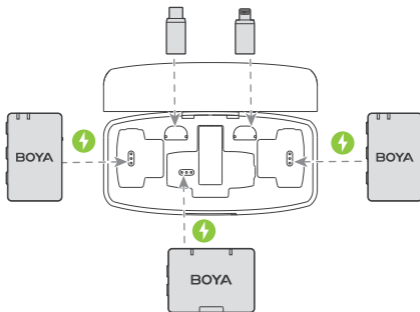
#### 4. ペアリング

トランスミッターとレシーバーはデフォルトでペアリングされています。もし接続が切れた場合は、以下の手順に従ってください：

- ① レシーバーのMボタンを押し、「Pair」メニュー画面に移動します。
- ② Mボタンを長押しして設定にアクセス → ボタンを押して「Yes?」を選択 → 再度長押しして設定を保存します。



- ③ トランスミッターをペアリング状態にするため、シャットダウンモードで電源ボタンを5秒間長押しして、ステータスインジケーターが青色で速く点滅するまで待ちます。
- ④ トランスミッターとレシーバーは、10秒以内にペアリングされます。トランスミッターの情報やステータスはレシーバーの画面に表示されます。
5. 必要に応じて、レシーバーの3.5mmヘッドフォンポートにヘッドフォンを接続して、音声のモニタリングを行います。
6. レシーバーのメニューで、必要に応じて「Mono」「Stereo」「Safety Track」を設定します。
7. 録音を開始する前に、テスト録音して再生し、大きな音などの歪みがないか、音量が適切か確認することをお勧めします。
8. 騒音の多い環境で録音効果を改善するため、トランスミッターのノイズキャンセリングボタンを押してノイズキャンセリングをオンにすることをお勧めします。
9. 録音後、トランスミッターとレシーバーをケースに戻して充電します。



注意：

- ① レシーバーがペアリングに失敗した場合、ペアリング済みのトランスミッターの電源を切り、ペアリングされていないトランスミッターとレシーバーを再接続してください。
- ② 2.4GHzの無線周波数は広く使用されているため、信号が弱くなったり、電波の干渉を受けたりすることがあります。使用中は、壁や建物などの障害物を避け、2.4GHz周波数を使用しているデバイス（高出力のWi-Fiアンテナ、ラジオなど）から離れて使用してください。

## オンボード録音

- トランスミッターの側面にある録音ボタンを押してオンボード録音をオンにします。または、設定から「Auto Recording」をオン（Enable）にして、トランスミッターの電源をオンにした瞬間から自動的に録音を開始させることもできます。
- メモリは、48kHz/24bitのサンプリングレートで最大15時間の録音を保存できます。
- 録音が30分を超えると、自動的にファイルが分割されます。
- デフォルトでは、録音ファイルは「DATE-TIME.WAV」という形式で名前が付けられます。最大999件の録音ファイルを作成できます。
- 8GBの内蔵ストレージの容量がなくなった状態で録音を開始すると、最初のファイルから自動的に最新のファイルで上書きされます。

注意：

- ① 「ミュート」機能は、オンボード録音において有効になりません。
- ② オンボード録音が有効な場合、他の録音ファイルを再生できません。
- ③ トランスミッターが充電ケースに入れられると、オンボード録音は自動的に無効になります。



# トラブルシューティング

使用中に問題が発生した場合、以下のチェックリストをご確認ください。問題が解決しない場合は、販売代理店までお問合せください。

## • 音が出ない、または外部デバイスに接続しても音が出ない場合

- ① レシーバーとレシーバーのアダプターがデバイスにしっかり接続されていることを確認してください。アダプターを外し、接点を清潔な布で拭いてください。
- ② マイクゲインや出力ボリュームが最小になっていないことを確認してください。
- ③ トランスミッターなどがミュートになっていないことを確認してください。

## • 音が小さすぎる、大きすぎる、または歪んでいる場合

- ① マイクゲインや出力ボリュームを適切なレベルに調整してください。
- ② 騒音の多い環境で録音している場合、ノイズキャンセリングをオンにすることを勧めます。

## • モニタリング中にノイズが発生する場合

近くに電波干渉源がないことを確認してください。場所を変えてもノイズが解消されない場合は、販売代理店までお問合せください。

## • 音が頻繁に途切れる場合

トランスミッターとレシーバーの間に電波や壁などや、電波干渉がないことを確認してください。頻繁に発生する場合は、販売代理店までお問合せください。

• **アダプターを使用した、レシーバーで出力のモニタリング再生ができない場合**  
レシーバーのメニューで、「Speaker」がオフ (Disable) になっていることを確認してください。

## • アダプターを使用した、レシーバーでハウリングノイズが発生する場合

レシーバーのメニューで、「Speaker」がオフ (Disable) になっていることを確認してください。

## • トランスミッターやレシーバーが充電ケースで充電できない場合

- ① 両方の充電接点がしっかりと接触していることを確認してください。充電接点を清潔な布で拭いて再度お試しください。
- ② 磁力が劣化しているか、充電接点が十分に接触していないかを確認するために、充電ケースに入れたトランスミッター/レシーバーを押して、充電状態になっているか確認してください。それでも充電できない場合は、販売代理店までお問合せください。

# 仕様

## トランスミッター

伝送方式	2.4GHzデジタル周波数帯
信号変調	ガウス周波数シフトキーイング
指向性	無指向性
最大通信距離	300m (障害物と干渉のない環境で測定)
RF出力電力	<10mW
周波数特性	20Hz - 20kHz
最大音圧レベル	120dB SPL
サンプリングレート/ビットレート	48kHz/24bit
感度	-32±2dB
S/N比	>90dB
歪み	<0.07%
オーディオ入力	内蔵マイク/3.5mm外付けマイク/ TRSマイク入力
充電方式	内蔵リチウムイオンバッテリー/ 充電ケース/USB-Cインターフェース(5V)
バッテリー容量	220mAh
連続使用時間	約10時間 (オンボード録音オフ) 約6時間 (オンボード録音オン)
充電時間	約1.5時間
ストレージ	8GB
オンボード録音時間	約15時間 (最長)
オンボード録音フォーマット	WAV
重量	約24g
サイズ	47×29×13.5mm
動作温度	0°C ~ 50°C
保管温度	-10°C ~ 50°C

# レシーバー

ディスプレイ	OLED
伝送方式	2.4GHzデジタル周波数帯
信号変調	ガウス周波数シフトキーイング
最大通信距離	300m (障害物と干渉のない環境で測定)
RF出力電力	<10mW
周波数特性	20Hz - 20kHz
サンプリングレート/ビットレート	48kHz/24bit
S/N比	>90dB
歪み	<0.07%
オーディオ出力	3.5mmTRS出力端子/USB-Cアダプタ/ MFi認証Lightningアダプタ
モニタリング出力	3.5mmTRSヘッドホン端子
充電方式	内蔵リチウムイオンバッテリー/ 充電ケース/USB-Cインターフェース(5V)
バッテリー容量	300mAh
連続使用時間	約11時間
充電時間	約1.5時間
重量	約29g
サイズ	46×34×19mm
動作温度	0°C ~ 50°C
保管温度	-10°C ~ 50°C

## 充電ケース

バッテリー容量	1800mAh
充電時間	約2.5時間
充電方式	USB-Cインターフェース(5V) / ワイヤレス充電
充電可能回数	1.2回分 (トランスミッター×2+レシーバー×1)
重量	約180g
サイズ	115×56.2×68.5mm
動作温度	0°C ~ 50°C
保管温度	-10°C ~ 50°C

## 内容物

トランスミッター×2

レシーバー×1

充電ケース×1

MFi認証Lightningアダプタ×1

USB-Cアダプタ×1

クリップ用マグネット×2

ウィンドジャマー×2

3.5mmTRSオーディオケーブル×1

USB-C - USB-A ケーブル×1

USB-C変換アダプタ×1

ラベリアマイク (ピンマイク) ×2

ラベリアマイク (ピンマイク) 用クリップ×2

ラベリアマイク (ピンマイク) 用ウィンドスクリーン×2

キャリングポーチ×1

BOYAのロゴは、Shenzhen Jiayz Photo Industrial, Ltd.  
が登録・所有する商標です。